

## 蒲郡インナーハーバー計画改定検討調査

### 1 実施概要

- 実施時期：平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 2 月 27 日
- 実施主体：愛知県蒲郡市
- 計画策定の目的

蒲郡インナーハーバーでは、アメリカズカップ開催地を念頭においた開発計画が実施されていたが、蒲郡市でアメリカズカップを開催することが困難になったことから、それに代わる計画が必要となり、今回の蒲郡インナーハーバー計画改定検討調査を実施した。

蒲郡インナーハーバー計画改定案は、(社)日本港湾協会が作成した「三河湾ポートルネッサンス 2 1 調査報告」(昭和 63 年 3 月)、蒲郡市がアメリカズカップを主たる目的に作成した「蒲郡インナーハーバー計画」、既存の防災対策を示した「蒲郡市地域防災・水防計画」の 3 つの計画を土台として、「みなとオアシスがまごおり」のテーマである“賑わいのオアシス”と“安全のオアシス”を考慮した具体案を作成することを目的としている。

- 計画の実施フロー

- ①既存計画の整理

- ②賑わいのオアシス

- ・市内小中学生アンケート調査 (小 6 : 63 人、中 2 : 66 人)
    - ・船会社、観光会社、観光施設にヒアリング調査 (2 2 社)  
※観光業 3 観光施設 4 港湾関連会社 8 マリーナ施設 5 製造会社 2
    - ・まちづくり NPO と懇談会 (2 団体)

- ③安心のオアシス

- ・伊勢湾台風における蒲郡市被害調査
    - ・阪神淡路大震災を事例とした防災対策の調査

- ④地域住民を対象とした調査報告会実施

- ヒアリング結果

蒲郡インナーハーバーに必要なもの

- ・大型施設 (図書館、文化施設、レストランなど)
  - ・遊歩道
  - ・ヨット関連施設 (係留施設、フリー栈橋)
  - ・周辺の景観への配慮
  - ・海洋教育の普及 (レガッタ、ディンギーなど)
  - ・全体のバリアフリー化
  - ・トイレ

## ● 整備構想

蒲郡インナーハーバー・竹島埠頭整備構想（ラ・メール・プラン 2009）

- ① フリーの浮き桟橋整備
  - ・小中学生、市民等を対象にしたセーリング活動の拠点整備
  - ・プレジャーボートを活用した、災害時の物資供給拠点としての活用
  
- ② 海洋教育施設整備
  - ・海洋教育が可能な宿泊施設の設置
  - ・海の情報基地としてのクラブハウス設置
  - ・賑わいのためのバーベキュー場の整備（災害時には炊き出し用）
  
- ③ 海の迎賓館施設整備
  - ・観光旅客船ターミナルの整備
  - ・特産品や地域ブランド品、文化等を展示する施設整備
  - ・災害拠点の啓発の拠点整備
  
- ④ 竹島埠頭の耐震岸壁とヘリポート場整備
  - ・観光船の発着場としての再整備
  - ・災害時に備えた耐震岸壁の整備
  - ・自衛隊や周辺マリーナと連携した、海上物資輸送の拠点の整備
  - ・三河湾内の災害用としてのヘリポートの整備